

第5回 明治大学小史展

記念品・記念物に見る明治大学史

2000・6・9～10・30

大学会館1階ロビー

本学は来年の1月17日をもって120周年を迎えます。その間、学内では語りつくせない程、たくさんの出来事がありました。

今回は、こうした長い歴史において作られたいいくつかの記念品・記念物を紹介することにしました。しかしながら、その史料は大小さまざま、かつあまりにもたくさん残されています。そこで今回はごく1部にとどめました。さらに絵葉書や墨書き等は近々、別に展示をすることにしました。

なお、お問い合わせは歴史編纂事務室（当館6F）まで、お願いします。



開学記念碑（1995年、実物）

展示品

1. 卒業記念アルバム（1924年3月）

関東大震災を克服して、翌春に卒業を迎えた時の法・商両科のアルバムである。

2. 留学記念文箱（1926年2月）

故冠木精喜法学部教授がイギリス留学に際して、郷里喜多方市的小学校級友より贈られたものである。

3. 創立五十周年記念ペン皿（1931年11月）

本学創立50周年の祝典は1931（昭和6）年11月1日、完成まもない記念館講堂にて行われた。

4. 野球部功労祝盃（1936年）

草創期野球部に活躍した池田明篤氏（校友明義氏実父）へ同部がその功労をたたえて贈ったものである。

5. 予科記念祭メダル（1939年11月）

第6回予科移転記念祭の際、予科会が制作したものである。和泉ヶ丘では、演芸・スポーツ、模擬店等、にぎやかであったという。

6. 創立六十周年記念式典装飾塔図案（1940年11月）

本学の創立60周年の記念式典は紀元2600年に会わせて1940（昭和15）年に行われた。その際の式典入口の装飾塔の図案である。当時の東京市主催奉祝会の参列券も本学内に残されている。

7. 創立六十周年記念メダル（1940年11月）

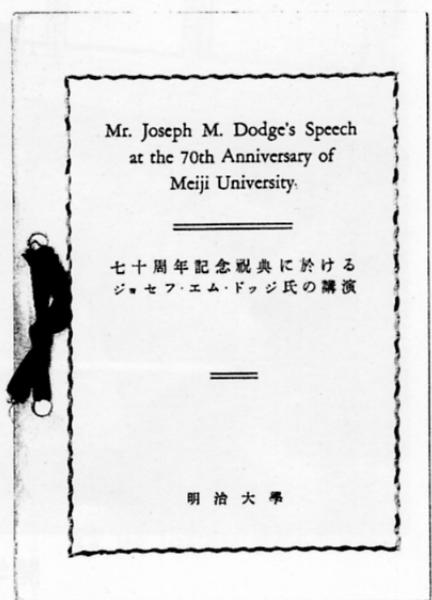
1940（昭和15）年11月18日、記念館大講堂で創立60周年の記念式が行われた。

8. 創立七十周年記念バッкл（1950年11月）

本学の創立70周年の記念式典は戦後間もない1950（昭和25）年11月17日に行われ、以後3日間、行事が繰り広げられた。

9. ジョセフ・エム・ドッジの講演録（1950年12月）

創立70周年を記念して本学は当時「ドッジ・ライン」で有名なGHQ金融経済顧問ドッジを招いて講演会を行った。本史料はその英文・和文の講演録である。



10. 創立80周年記念ペナント（1960年11月）
本学創立80周年の式典は1960（昭和35）年11月1日、記念館で催された。
それにともない、アラスカ学術調査、体育祭等も行われた。
11. 商科創立60周年記念ペン皿（1962年11月）
商学部60周年の記念式典は1962（昭和37）年11月4日、和泉校舎でとり行われた。
12. オルゴールとさまざまなコレクション（1969年12月）
本学職員の坂場薰氏が学生時代に収集され、その後、当室に寄贈されたものの一部である。
13. LP版レコード「明治大学」（1973年11月）
創立100周年を7年後にひかえた1973（昭和48）年11月に音楽出版株式会社より制作・発売された。
14. スキ一部創部五十周年記念小物入れ（1975年）
スキ一部が山岳部スキー班から独立し、創部をしたのは1925（大正14）年のことである。この史料はそれから半世紀の躍進を祝ったものである。
15. 東京六大学リーグ戦第100回記念乗車券（1979年4月）
東京六大学野球連盟が発足したのは1925（大正14）年のことである。これはそのリーグ戦100回を記念して国鉄（現JR）が制作したものである。
16. 創立100周年記念講演会記念品（1980年5月）
本学にとって1980年は創立100周年の祝典にあけられたといつてもよい。その主要な行事として5月26日、ライシャワーハーバード大学教授と三木武夫元首相を招いて記念講演会を行った。その時に記念品としてネクタイピンや文鎮が配布された。
17. 維持員クラブ創立100周年記念カレンダー（1981年）
維持員クラブは学校法人明治大学に協力するために1951（昭和26）年4月に発足した。これはその会員等に配布したものである。
18. 針生山荘落成記念ペナント（1986年10月）
このペナントはワンダーフォーゲル部が福島県南会津郡田島町に山荘を開設した時に、記念してつくられたものである。
19. マンドリン倶楽部演奏旅行記念ペナント（1992年9月）
マンドリン倶楽部が創部70周年を迎え中国で演奏をした時の記念品である。

20. 開学記念碑〈ミニチュア〉(1995年11月)

1995(平成7)年、本学開校の地・有楽町に開校の記念碑が建立された。これはそのミニチュアである。

21. 清酒「おゝ明治」(1995年11月)

「さよなら記念館」の記念行事の際に本学が企画、酒造会社で製造された。

22. 記念館本版画(1995年)

建て替えとなる3代目の記念館を惜しみ、井堂雅夫氏が制作したものである。

23. 全国校友京都大会記念一輪挿(1996年10月)

1996(平成8)年の校友会全国大会に記念して制作された。作者は武内裕氏(校友)である。

24. リバティタワーが描かれた記念品(1998年4月、11月)

明治大学入学記念切符(上)とリバティタワー竣工記念スタンプ(下)である。

25. リバティタワー「定礎の辞」の写真(1998年9月)

この実物はリバティタワー第1期工事竣工の際、埋め込まれた。次世代に向けたこのメッセージを目にするのはいつのことか、分からぬ。



〈参考〉近年の記念品

(1994年、CD版校歌)

2000・6・9

明治大学歴史編纂事務室

☎ 03(3296)4085・4086